

令和1年9月24日

生産者 各位

岡山市農業協同組合

「トビイロウンカ」の発生予察警報が発表されました

令和元年9月24日付、病虫害発生予察警報第1号のとおり、岡山県中南部に「トビイロウンカ」に関する発生警報が発令されました。県下全域での発生圃場率は74.4%（平年14.1%）で平年の約5.3倍、株当たり虫数は6.5頭（平年1.2頭）で平年の約5.4倍といずれも平年を上回っています。

また、出穂前防除を実施した（1回のみ）ほ場では、防除薬剤の効果が低下する時期となります。ほ場をよく観察し発生防除に務めましょう。

<応急防除薬剤例>

薬剤名 使用量又は倍率	使用時期 収穫前	使用薬剤の 使用回数
トレボン粉剤 DL 4 kg /10a	7日前まで	3回以内
スタークル粒剤 3 kg /10a	7日前まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤 3000倍 60~1500/10a	7日前まで	3回以内

（有効成分を含む農薬の総使用回数にご注意ください）



成虫（体長約5mm）
（矢印は短翅型雌成虫）



株元に集中して生息
（矢印は短翅型雌成虫）



圃場の被害（坪枯れ）

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。

- ・圃場をよく観察し、収穫の1か月以上前に成幼虫合計で株当たり10頭以上又は短翅型雌成虫で株当たり0.2頭以上を越えるほ場では、直ちに防除する。
- ・本虫は圃場内に局在し、また稲の株元に集中するので、より多くの稲の株元を丁寧に観察する。
- ・粉剤・液剤の薬剤散布に当たっては、薬剤が株元まで十分到達するよう留意する。
- ・県内の一部では、すでにトビイロウンカによる坪枯れが確認されています。